

(左から) 正野マサ子さん宅の庭先/有屋小学校の花壇/下向地区T字路花壇



花

いっぱい運動・フラワーコンクール
団体の部・最優秀賞は下向地区！

9月2日、町区長・公民館長連絡協議会（矢口知之助会長）主催のフラワーコンクール審査会が開催されました。今年度の重点地域は、有屋地域と東郷地域です。審査は、重点地域の各地区から推薦のあった個人・団体28か所を6月と9月の2回に分けて実施。花の飾り方、雑草処理等の管理、景観への配慮、地域交流などの審査項目をトータルし、区公連役員14名が審査しました。入賞した団体・個人は次のとおりです。来年度は、中田地域と西郷地域が重点地域となります。今後も景観づくりに対するご協力と花いっぱい運動へのご理解をよろしく願います。

- 団体の部
 - 【最優秀賞】 下向地区
 - 【優秀賞】 柳原地区、安沢地区、有屋小学校
- 個人の部（敬称略）
 - 【最優秀賞】 正野マサ子（下野明）
 - 【優秀賞】 小野ハナ子（蒲沢）
 - 柴田 良子（柳原）



(右から) 研究会会長の沼澤道也さん、佐藤町長、しあわせ菜の花の会代表 今田政男さん

9月1日、かねやま新エネルギー実践研究会から町へ20万円の寄附をいただきました。かねやま新エネルギー実践研究会は平成15年に設立され令和2年8月20日までの17年間、バイオマス研究や、小中学生に対し菜の花環境学習を行うなど精力的に活動されてきました。

今回の寄附金は、無農薬栽培の菜種からしぼった食用油「なたねっこ」の今までの販売収益を「環境施策の財源として活用してほしい」といただいたものです。研究会の皆さんの意思を引き継ぎ、大切に活用させていただきます。ありがとうございました。

LED街路灯7基を町に寄贈 東北電力とユアテックが5年連続

9月9日、東北電力ネットワーク(株)新庄電力センターの遠藤裕之所長と(株)ユアテック新庄営業所の村上学所長が佐藤町長を訪れ、町へLED街路灯7基を寄贈くださいました。寄贈に際し、両所長は「安心・安全な町づくりに役立ててほしい」と話していました。

両社からの寄贈は5年目。平成28年以降、毎年いただいております。省エネで長寿命かつ高輝度なLED灯。町内各地の老朽化した蛍光灯などから順次いただいた街路灯に交換していく予定です。ありがとうございます。



(右から) 佐藤町長、東北電力遠藤所長、ユアテック村上所長

よりよい環境づくりのために かねやま新エネルギー実践研究会が寄附

いざという時に行動できるように 金山町総合防災訓練を実施

9月6日、町総合防災訓練を実施しました。町内全31地区での避難訓練に加え、西郷地域において、水防訓練や避難所の運営訓練、災害発生時に人が近づけない現場の状況確認のためにドローンを活用して情報を収集する災害情報収集訓練を実施。また、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止を想定した、段ボールベッドの組み立て、間仕切りの設置なども行いました。「いざ」という時に、迅速かつ的確に対処できるよう備えることの大切さを学びました。



①災害情報収集訓練ではドローンを飛ばし監視土のうを作成 ②段ボールベッドの組み立てと、間仕切りの設置訓練

学

校統合を見据え有効な活用を模索
廃校活用検討委員会を設置

令和4年度の小学校統合を見据え、廃校施設の活用方法を模索するため金山町廃校活用検討委員会を立ち上げました。9月7日には第1回検討委員会が開かれ、地域代表の区長や専門家、一般公募に選出された委員により活発な議論がなされました。参集した19名の委員からは「学校は地域文化の中心。コミュニティの拠点として活用したいが、地域での管理は難しい」などのほか、具体的な利用法まで踏み込んだ意見も出されました。なお、検討会の議事録や対象施設の詳細については、町ホームページに公表しておりますので、ぜひご覧ください。



委員長はその道のプロである齊藤徹史 東北公益文科大学准教授を選任

ビーナッツの新商品お披露目 産地化に向けて前進

9月15日、金山産落花生「ビーナッツ」の新商品販売お披露目会が開催されました。今回お披露目された商品に使用されている落花生は、全て町で収穫された種子により生産した純金山産です。金山産落花生の栽培は今年で3年目。現在、町内で

の生産者は15名、2020年産の収穫量は5・7tが見込まれており、生産量も前年比で2倍に増えるなど着実に産地化に向け、前進しています。

商品はマルコの蔵、シェーネスハイム金山の他、(株)でん六通販サイト等での販売も予定しています。



新商品は「揚げ塩」「素焼き」のパッケージもリニューアルされた